

Claude Design で作るスライド

対話するだけで、
デザイン性の高いプレゼンテーションが生まれる。
そんな新しい資料制作のかたちを、
10枚で紹介します。

Claude Design **とは**

対話を通じてスライド・プロトタイプ・デザインアセットを生成する、
Claude のデザイン制作モード。

指示を **会話** で伝えると、
ブランドや構造を理解した
HTML 形式の成果物 が返ってくる。

テンプレートを埋めるのではなく、
意図を受け取って構成から組み立てる。
だから、毎回少しずつ違う最適解が出てくる。



– PROCESS

対話 → **構成** → **仕上げ**

テーマ、長さ、トーンを伝えるだけ。Claudeが目次を
起こし、レイアウトを選び、配色まで整える。

EDITABLE

HTML ・ 1920 × 1080

スライドの作り方

3 ステップで、ゼロから完成形まで。

STEP 01

意図を伝える

テーマ、聴衆、所要時間、トーンを 1～2 文で。詳細を詰める前に、まず方向性を共有する。

YOU >

新製品発表を 10 分で。
聴衆は社内の営業チーム。

STEP 02

構成を確認する

Claude がタイトルの並び(目次)を提案。物語として通っているかを、この段階で確認する。

CLAUDE >

1. 市場の変化
2. 製品の核心
3. 顧客への価値...

STEP 03

仕上げを依頼する

出てきたスライドを見ながら、配色・レイアウト・コピーを会話で微調整。最後に PPTX や PDF へ出力。

YOU >

3 枚目をもっと数字を強調した
レイアウトに変えて。

制作工程

対話

生成

調整



主な特徴

Claude Design が他のスライドツールと異なる 4 つの軸。

- 01 / CONVERSATIONAL

対話で組み立てる

ボタンやメニューではなく、自然な言葉で「この章を短く」「もっと余白を」と指示できる。



- 02 / STRUCTURED

構成から考える

テンプレートに流し込むのではなく、目次・章立て・パラレリズムを起点にスライドを組み立てる。



- 03 / EDITABLE HTML

HTML として出力される

そのまま Web で共有でき、PPTX や PDF にも書き出せる。コードレベルでの微調整も可能。



- 04 / BRAND-AWARE

ブランドを尊重する

ロゴ、配色、フォントを共有すれば、最初の一枚目から自社らしい見たくで生成される。



デザインシステムと連携する

プロジェクトに用意したカラー・タイポ・コンポーネントを参照して、一貫した見た目で生成する。

- A. **カラートークン**を共有すれば、すべてのスライドで統一された配色になる。
- B. **タイポグラフィ**はフォント名・サイズ階層まで指定可能。本文と見出しが破綻しない。
- C. **レイアウトグリッド**を渡すと、すべての要素が同じリズムで揃う。
- D. **ロゴ・アイコン**はファイルとして添付するだけ。SVGとして直接埋め込まれる。

- COLOR TOKENS



- TYPOGRAPHY

DISPLAY 見出しの基本書体
BODY 本文サンプルのウェイトと行送り

- GRID 12 COL



利点は、3つの軸で効いてくる

スピード、品質、そして反復しやすさ。

10[×]

下書きから初稿までが速い

構成提案からレイアウトまで、最初の一巡が数分で回る。

0枚

テンプレートに縛られない

毎回、内容に合わせて最適なレイアウトが選ばれる。テンプレを探す時間がいない。



気軽に試せる

「もう一案」を頼むコストが極端に低いので、構成違いの比較がしやすい。

どんな**場面**で使えるか

使う人	場面	うれしいこと	所要時間
PM	機能提案レビュー	ストーリーの並べ替えを会話で素早く検証できる。	~ 30 MIN
デザイナー	アイデアの叩き台	複数の構成案を同時に出して、方向性の議論に集中できる。	~ 1 HR
経営層	社内向け定例報告	数字や図表を、毎回似たトーンで安定して仕上げられる。	~ 20 MIN
講師・教員	講義資料の作成	章立てから視覚化まで一気通貫。配布用 PDF にもそのまま出せる。	~ 2 HR

注意点

便利だからこそ、出力をそのまま信じない設計が大切。

01

事実関係は必ず人が確認する

数字、固有名詞、引用は誤りが混ざることがある。発表前に元データと照合する習慣を。

02

文字量はこちらで調整する

放っておくと情報を詰め込みがち。「1スライド1メッセージ」を明示的に依頼するとよい。

03

機密情報の取り扱いに配慮

未公開の数値や個人情報を含める場合は、組織のポリシーに沿って入力範囲を判断する。

04

ブランドの最終確認は人が行う

ロゴの使い方や色のニュアンスなど、細部は必ずデザイナーがレビューしてから配布する。

はじめて みよう。

最初一枚は、5分でできる。

テーマと聴衆を一行で伝えるところから、Claude Design は始まります。

- ✓ テーマと聴衆を1行で書き出す
- ✓ 所要時間とトーンを伝える
- ✓ ブランドカラーやロゴを添える
- ✓ 出てきた構成案にコメントする

“

いいスライドは、書く前に構成が決まっている。

Claude は、その最初の一手を引き受けてくれる。

- CLAUDE DESIGN, 2026